

ナズーリーはお嬢さん

(文ちゃんはセラヒ)

成人向
Adult Only

ナズーリンちゅっちゅ

文
ち
や
ん
ぱ
ん
ぱ
ん
っ

ナズーリン

僕のお嫁さん。

まっ

なので、

当然エッチもする。

がー

毎日の様にもだりに
エッチするのは彼女としては
「ケダモノの様に節操が無い」
そうで

サカリのついた
獣じやないんかから

エッチは週に一回、
多くて二回と二人で決めている。

僕は毎日でもシたいくらいで、
それこそ彼女の言う「ケダモノ」な
訳だが、そこは彼女の為、
逸る気持ちをグツとこらえている
のである。

分かったよ。

頑張ったもんぢや

彼女も僕がそうして毎日
耐え忍んでいるのを解ってくれてか、
僕がガマンの限界で
「どうしてもシたい」という時には、
先の約束の範囲内で快く
「良いよ」と言ってくれる。

そして今――

僕の性欲は 限界を越えている。

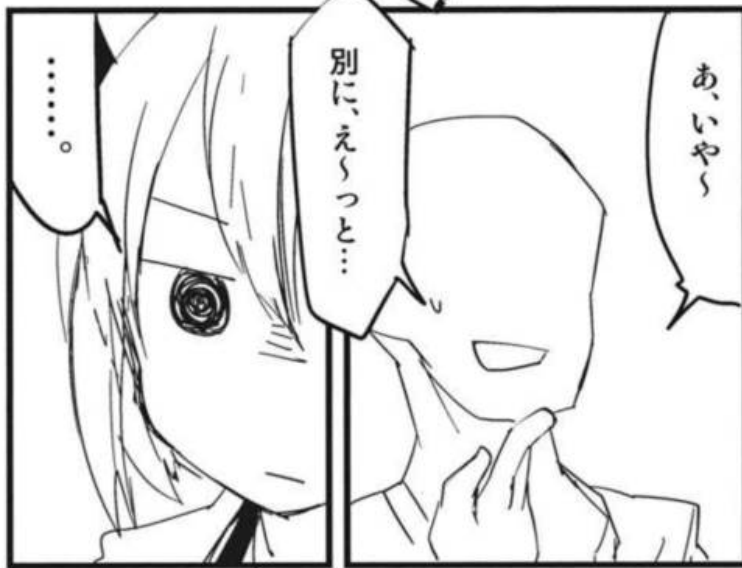




どうした？

どうわあお
ナズーリン!?

わ、
びっくりした。



あ、いや

別に、え〜と…

……。



さっきからやたらと
悩んでる顔してるし
うーうー唸ってるし…

何か困った事でも
あるのかい？
相談なら乗るけど…

えっ!?



いや、別に…に、そんな
事は…何て言うか…
うーんと…。

はぐらかしても
駄目だ。
顔に書いてある。

正直に
言わないと
ずっと
おあずけだぞ。

うっ…。



ひよっとして…

したいの？



はい…

したい
です…。





文ちゃん!?

そんなにシたくて
たまらないなら

私がお相手
しますよ?

えっ!?

はあ!?

どこから入った
んだ天狗!!



なに人の
旦那に
色目遣って
るんだこの
カラス女!!



だあーって。
好きな人が自分の事を
こんなに想ってくれて
いるのにですよ? そんな
冷たい態度を取るなんて、
これでは彼が可哀想です。

ぐっ…。



どうです?
私の方はいつでも
準備OKですよ?
や…でも僕は
ナズーリンが…
分かってますよお。
話は聞きました
からね。

でもコツチもずっと
このままじゃもたない
でしょう?

あし

せめてコツチだけでも
一度スッキリさせては
どうですか?



文ちゃん、
背中…
当ててるん
ですよー♪

何だよ何だよ
タジタジじゃ
ないか…!
私だって本音
ではしたいさ、
してあげたい
さ!
でも…このタイミングで
言い出すとムキになってる
子供みたいで悔しいし…

でもこのままじゃ
あの天狗に良い様に
されてしまう…!!

もう食べちゃ
おっかなろ。

けど…

……!!



千



私がしてあげよ!!



約束なんてどうでも良い!! 節操無くたって良い!!

私が幾らでもしてあげるから...

無理矢理でも君が他の女とするなんてやだやだあっ!!



...ごめん文ちゃん。







ちやっかり着ておいて何だが
何なんだこの
カツコは…？



裸エプロン!!

そんな事は
分かってる!!



これが君の
シユミなのか!?

まあシユミっていうか
さつきエプロン姿の
ナズーリンを見てね。

やっぱり可愛いよ
ナズーリン。
おかげで
色々ヤバイ。

全く…見上げた性欲の
持ち主だな、君は。

まあ…私を想って
こうなったという
のは嬉しいには
嬉しいんだが…。







オツケー
オツケー。

こんな
カッコで
するのか？



気持ち良く
してあげないと
ね！

くっ…
こっちも



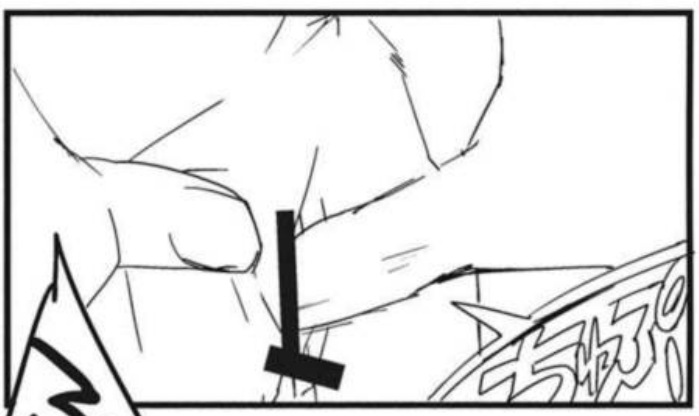
こんな
丸見えで…
恥ずかしい。

はっ
ん



あっ
バカあつ、そんな

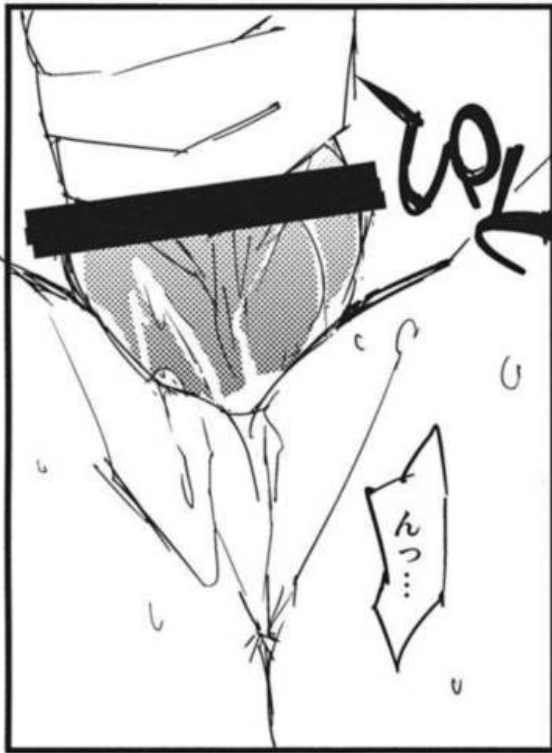
指入れ…
舐めるなあっ！



んがっ！







あ
いきなり
全部なんて…っ！



まだ…
さつきイッた
ばっかりなのに…！

ああナズーリン…
すっごい気持ち良い
…！



じゃあ…
ナズーリン、
動くよ？

うん
えっ!?

ぬる

あつ、待っ

まだ…



ああ、やっと
ナズーリンと!!



ナズーリン

ダメ…こんなの

あ

すっごい…

声

漏れちゃう…!





愛してる
ナズーリン!!

ナズーリン!

好きだ!



な、何

なにを言ってるの
アッアッアッ

アッアッアッ
アッアッアッ



ナズーリン
だって昨夜
同じ様な事
言ってたよ?

ナズーリン

僕...もう...!

うん...

なか

いにか...



ああ

ナズーリン!!

ああ



……
ナズーリン、

全然治まらない
んだ、もっと……
したい……!

うん。
うん……



ナズーリン!





ん...ん...

ん...ん...

は...は...

は...は...

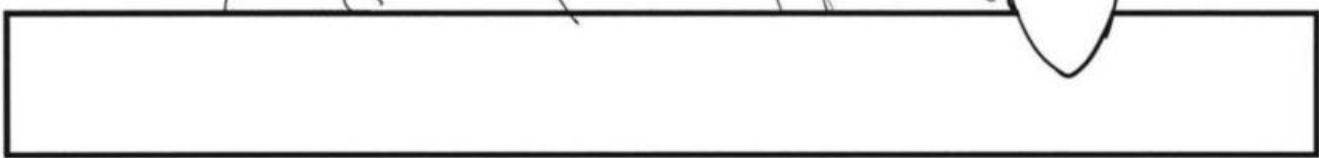
ん...ん...

ナズーリン...
ありがとう。

は...は...

うん...。

愛してるよ...。





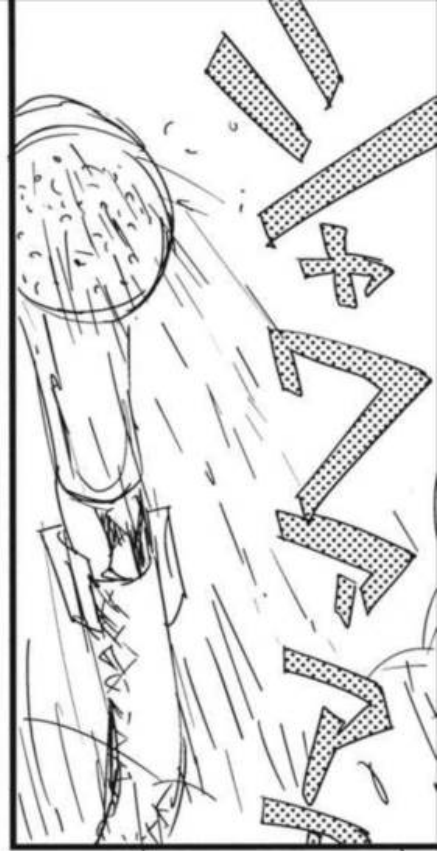
ナズーリン。

今日はホントに
ごめんね。

ちゃぷりん

ナズーリンは
「約束なんてどうでも良い」
って言ってたけど

今度からはもっと
自制できる様に頑張るから…。



そう言えば

言っ
てな
かつ
た
と
思
っ
て。
?

……。

ナズーリン？

やっ
ぱり
怒
っ
て
る
？



私も

愛
し
て
る
よ。

おわり

おまけ



あとかき

リズムにHigh! (挨拶)

どうも初めましての方もそうでない方もこんにちは、さべです。
この本を手にとって戴きありがとうございます。

僕は東方でナズーリンが一番好きです。
星蓮船5面道中で彼女が登場した時のあの衝撃は今でも忘れません。
正に全身に電流が流れたかのような様でした。

この本は、そんなナズーリンが嫁さんになっているという妄想の下
僕がナズーリンにしたい事をページと〆切までの時間が許す限り盛り込んだつもりです。
ペン入れしながら「何でナズーリンが僕の隣にいないんだろう」と8000回くらい思いました。

まあ結果的には印刷所様に〆切を延ばして戴くハメにまでなってしまったのですが…。
(印刷所のポプルス様、ホントすみませんでしたありがとうございますですハイ)

さて、ナズーリンの他に文ちゃんも登場します。
文ちゃん好きな方々には申し訳無いのですが、
僕にとって文ちゃんはセフレ以上の何者でもないのです。
ナズーリンを「東方で純粋に一番好きなキャラ」とするなら
文ちゃんは「東方で一番エロいと思うキャラ」な訳です。
そんな訳でそこら辺をタイトルやおまけページで補完しました。
かつてのセフレ同士 という感じに捉えて戴ければ良いかなと。

それでは、「裸エプロンにする意味あんま無かったなあ」と思いつつ今回はこんな所で。(〆切前夜)

奥付

「ナズーリンはお嫁さん(文ちゃんはセフレ)」

原作:上海アリス幻楽団様
初版発行日:2011年9月11日 博麗神社例大祭SP2
発行者:さべ
印刷所:(株)ポプルス

【連絡先】

E-mail:sakura_twintail@hotmail.co.jp
pixiv:1096867

※当作品は東方Projectの二次創作物です。
※当作品の無断での複製、加工、転載を禁じます。

せぺろん
ブラック